

令和 4 年 11 月 25 日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構

新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置計画変更(工程変更)に係る届出について

日本原子力研究開発機構は、新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置について、原子炉本体の解体に向け具体的な工法の検討・確認を段階的に進めてきた結果、より安全性の高い工法に変更することとし、廃止措置計画の変更を行うことを本年 8 月 8 日に公表[※]いたしました。

本日、廃止措置計画の変更(工程変更)に係る手続の準備が整ったことから、原子力規制委員会に対し、廃止措置計画変更(工程変更)に係る届出を行いました。

届出内容(工程変更)

- ① 原子炉本体の解体着手 2023 年度から 2030 年度に変更
- ② 廃止措置完了時期 2033 年度から 2040 年度に変更

廃止措置の推進にあたっては、今後も安全確保を最優先に、立地自治体、地域住民の方々、そして国民の皆様のご理解を得ながら、廃止措置計画に基づき着実に履行できるよう取り組んでまいります。

※令和 4 年 8 月 8 日 HP掲載

新型転換炉原型炉「ふげん」の廃止措置計画変更(工程変更)について

<https://www.jaea.go.jp/04/turuga/jturuga/press/posirase/2208/o220808-2.pdf>